

● 第43回 ●

広島県建設業労働災害防止大会

と き 平成20年9月11日(木) (13:20~16:00)

ところ 広島県民文化センター
(広島市中区大手町1丁目5-3 TEL082-245-2311)

「トップが率先 みんなが実行
つみ取ろう職場の危険」

(平成20年度全国安全週間スローガン)



「全員参加でつみ取るリスク
つくろう 危険ゼロの快適職場」

(第43回広島県建設業労働災害防止大会スローガン)

主 催 建設業労働災害防止協会
広島県支部

後 援 広島労働局

参加される方へ

——●参加費●——

1名につき 600円

——●申込方法●——

大会参加者は、建災防各分会に
お申し込み下さい。

大会プログラム

12:00	開 場		
13:20	開 会	黙 禱	
		開会のことば	副 支 部 長
		挨拶	支 部 長
		歓迎のことば	広 島 市 長
		表彰経過報告	表彰選考委員
		表 彰	支 部 長
		謝 辞	受 賞 者 代 表
		祝 辞	広島労働局長 中国地方整備局長 広島県知事 建設業労働災害防止協会長
		安全の誓い	副 支 部 長
14:30	記 念 講 演	『わたしの原点「戦艦大和」～重油の海から～』	八 杉 康 夫 (やすぎ やすお)
16:00	閉 会 の こと ば		副 支 部 長

(記念講演師のプロフィール)

八 杉 康 夫 氏 (やすぎ やすお)

(調律事務所 弦楽器工房経営)



- 経 歴**
- 昭和2年(1927) 福山市に生まれる。
 - 昭和16年(1941) 旧制中学在学中に大東亜戦争勃発。
 - 昭和18年(1943) 海軍を志願、15歳で大竹海兵団へ入団。
 - 昭和20年(1945) 戦艦大和乗組員となる。帝国海軍最後の艦隊出撃となった沖縄特攻で撃沈され、辛うじて生還する。敗戦までを本土決戦用陸戦隊員として訓練中、原爆投下による広島救援出動で被爆者となる。
 - 昭和30年(1955) この頃から戦艦大和探索の資料集めに奔走する。
 - 昭和55年(1980) 第一次戦艦大和探索を開始。
 - 昭和60年(1985) 第四次探索で海底の大和の全貌を、NHKと共に映像化に成功。

現在までにテレビやラジオのドキュメンタリー番組やニュース番組への出演は数多い。

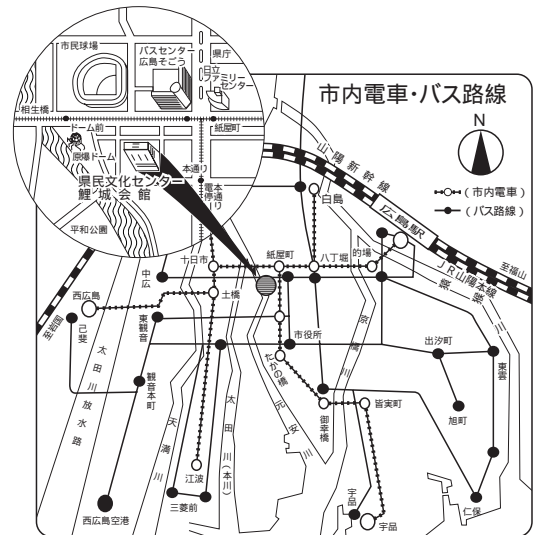
また、ノンフィクション作家、マスコミの依頼で大和の事実関係などの指導を行っている。

東映「男たちの大和」撮影にあたり、戦技指導教官を務める。

著作物には、被爆証言集「残照の川原石」や随筆集がある。

戦後60年余が経過し、歴史の証言者として、戦争の空しさと生命の貴さを主題に全国各地での講演に活躍中である。

著書 / 戦艦大和 最後の乗組員の遺言



広島駅から 広島電鉄電車紙屋町下車、広島電鉄バス：西広島空港行本通り下車、広島バス：広島港行本通り下車、その他：紙屋町経由の電車・バス、紙屋町下車便多数(所要時間約10分)

広島バスセンターから 徒歩約3分

西広島空港から 広島電鉄バス：広島駅行本通り下車、(所要時間約30分)

広島港から 広島バス：広島駅・向洋行本通り下車、広島電鉄電車：広島駅(紙屋町経由)行、西広島駅行、紙屋町下車、(所要時間約30分)

(財)県民センター

事務局 / 広島市中区大手町1丁目5-3

広島県民文化センター ☎(082)245-2311
地方職員共済組合鯉城会館 ☎(082)245-2322
FAX (082)245-2315